

**相模女子大学との「糸島市地域協働活動プログラム」(学生を5日間受け入れ)を実施します。
(東京事務所サービス関連事業)**

1. 内容

- 学内で公募した「糸島市地域協働活動プログラム」に応募された3名の相模女子大生が、糸島市内の事業者宅に宿泊し、事業の手伝い、イベント販売などの実務体験や、関係する生産者等との交流を行う。
- 実務体験や交流をとおして、人生形成に必要な「人との関わり方」「自らの強みや可能性への気づき」「将来の働き方を学び考える」機会としてもらう。
- 糸島市での経験を生かして、11月に開催予定の、小田急ホテルセンチュリー相模大野と相模女子大学とのレストランコラボ企画に向け、糸島食材を使ったメニュー提案に挑戦する。

2. 参加者

- 大塚 夏樹…人間社会学部社会マネジメント学科 (3年生)
- 菊池 香菜子…栄養科学部管理栄養学科 (1年生)
- 柴垣 彩音…栄養科学部健康栄養学科 (1年生)

3. 期間、スケジュール等

- 8月27日(木)～8月31日(月)の5日間

日程		午前	午後	夕方～
8月27日	木	糸島入り (13時 筑前前原駅改札口集合)	オリエンテーション	
8月28日	金	業務に従事	生産者交流兼ね市内視察 (市アテンド)	生産者との交流会
8月29日	土	業務に従事	業務に従事	提案メニュー考案
8月30日	日	イベント販売	イベント販売	最終日報告作成
8月31日	月	研修報告会・講評 (市役所)	糸島発	

4. 受け入れ者

惣菜畑がんこ (糸島市加布里 950-1) 柚木マスマミ氏

- 3人の子どもを育てながら家業(農業)を継がれ、2006年『惣菜畑がんこ』を開業。
- 店舗での惣菜の販売のほか、農産物直売所「伊都菜彩」への弁当や加工品の出荷などを行う。
- 2010年には食を通じた地域貢献が認められ、「第20回食アミニティコンテスト」農林水産大臣賞(最優秀賞に相当)を福岡県で初めて受賞。
- 地元の若者たちとの交流も活発で、一緒にイベントに出店するなど精力的な活動を展開。
- 全国各地に彼女の魅力と、糸島産の旬の野菜をふんだんに使った惣菜にほれ込んだファンが存在する。

5. 相模女子大について

- 1949年に設置された、日本で4番目に古い女子大学である。
- 大学のほか、小学部、中・高等部、短期大学、大学院を有し、大学院・大学・短期大学部で約3300名の学生が在籍。
- 学生による地域貢献活動に力を入れており、日本経済新聞社発行の日経グローバルNo.257「2014年度地域貢献度ランキング」（全国747の国公立大学を対象）で、女子大学としては4年連続第1位を獲得している。